

第 40 回全国環境研究所交流シンポジウム

2025(令和 7)年 2 月 19 日(水)～2 月 20 日(木)

於 国立環境研究所及びオンライン

司会: 菅田 誠治(国立環境研究所 企画部)

2 月 19 日(水)

13:00～13:05 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 木本 昌秀

13:05～13:10 来賓挨拶

環境省大臣官房総合政策課 環境研究技術室長 奥村 暢夫

13:10～13:15 事務連絡

特別講演

(1) 13:15～13:55 「環境 DNA 解析の現場から:生物多様性観測における利点と課題」

○今藤 夏子(国立環境研究所)

研究発表 <環境 DNA>

座長:今藤 夏子(国立環境研究所)

(2) 13:55～14:15 「環境 DNA メタバーコーディングにおける種の検出可能性の評価と研究デザインへの示唆」

○深谷 肇一(国立環境研究所)

(3) 14:15～14:35 「昆虫類環境 DNA 調査の季節変化に関する基礎的検討-国Ⅱ型研究成果報告-」

○長谷部 勇太(神奈川県環境科学センター)

(4) 14:35～14:55 「環境 DNA が明らかにしたイトウ生息河川の魚類群集」

○福島 路生(国立環境研究所)

14:55～15:05 (休 憩)

<大気汚染>

座長:茶谷 聡(国立環境研究所)

(5) 15:05～15:25 「名古屋市における大気浮遊粉じん中 6PPD キノンの実態把握」

○池盛 文数(名古屋市環境科学調査センター)

(6) 15:25～15:45 「ベイズ統計手法による CMB 法を用いた大気中微小粒子状物質(PM2.5)の発生源解析の検討」

○花石 竜治(青森県東青地域県民局環境管理部)

(7) 15:45～16:05 「レベル 3 建材からの石綿散逸問題に関するこれまでの取組みと今後の展開」

○酒井 護(大阪市立環境科学研究センター)

16:05～16:10 (休 憩)

<廃棄物・処分場>

座長:石垣 智基(国立環境研究所)

- (8) 16:10~16:30「廃棄物埋立処分場の汚泥中の PFAS 抽出条件の検討」
○足立 里菜(大阪府立環境農林水産総合研究所)
- (9) 16:30~16:50「埼玉県における一般廃棄物最終処分場管理者との連携構築」
○磯部 友護(埼玉県環境科学国際センター)
- (10) 16:50~17:10「最終処分場における事業者と研究者の連携によるデータの有効活用」
○石森 洋行(国立環境研究所)

情報提供

- (11) 17:10~17:30「環境研究共創拠点の構築に向けた取り組みについて」
○白井 知子(国立環境研究所)

2月20日(木)

9:30~9:35 事務連絡

<気候変動適応>

座長:西廣 淳(国立環境研究所)

- (12) 9:35~9:55「2種類の統計的手法による高解像度気候予測値の長野県における比較・検討」
○栗林 正俊(長野県環境保全研究所)
- (13) 9:55~10:15「2100年三春滝桜の開花予測ー福島県における地域特性に即した気候変動影響手法の検討ー」
○蛭田 真史(福島県環境創造センター)
- (14) 10:15~10:35「上下水道局と協奏で行うAI技術を応用した気候変動適応策の実施事例」
○落合 孝浩、木村 和貴(郡山市環境部環境保全センター)
- (15) 10:35~10:55「改定で何が変わった?ー地域気候変動適応計画のクオリティの変化に関する分析と評価ー」
○今井 葉子(国立環境研究所)

10:55~11:05 (休憩)

- (16) 11:05~11:25「北海道における将来の積雪変化の影響の理解に向けて」
○鈴木 啓明(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)
- (17) 11:25~11:45「北海道における過去および将来の暑さの変化について」
○大屋 祐太(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)
- (18) 11:45~12:05「市町村と連携した「暑さ指数」の認知度向上に向けた取組について」
○米山 翔太(神奈川県環境科学センター)
- (19) 12:05~12:25「気候変動が暑熱健康に及ぼす影響とその適応に関する連携研究」
○岡 和孝(国立環境研究所)

12:25~12:30 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 森口 祐一